



オリーブの木

長年パレスチナに住んで来た長女が、土産として使われているとしてよく持ち帰って、パレスチナの人々になくてはならないオイルである。

オリーブの木はパレスチナの人々にとつてなくてはならないものだ。パレスチナの気候に合っているオリーブの木は千年経つても実をつけると言われるほど生命力が強い。その一本一本のオリーブの木を大切に育てて来た家族の歴史がそこに刻まれている。とにかくオイルだけでなく、大切に育てている。

また、私たちがパレスチナを訪れた時、支援している施設の庭にもオリーブの木が植えられてあり、お土産にオリーブオイルをプレゼントされた。

また、私たちがパレスチナを訪れた時、支援している施設の庭にもオリーブの木が植えられてあり、お土産にオリーブオイルをプレゼントされた。

今回、我が家の庭の片隅に植えたオリーブが家族に平和をもたらしてほしいと願う。

オリーブの木はパレスチナの人々にとつてなくてはならないものだ。パレスチナの気候に合っているオリーブの木は千年経つても実をつけると言われるほど生命力が強い。その一本一本のオリーブの木を大切に育てて来た家族の歴史がそこに刻まれている。とにかくオイルだけでなく、大切に育てている。

オリーブの木はパレスチナの人々にとつてなくてはならないものだ。パレスチナの気候に合っているオリーブの木は千年経つても実をつけると言われるほど生命力が強い。その一本一本のオリーブの木を大切に育てて来た家族の歴史がそこに刻まれている。とにかくオイルだけでなく、大切に育てている。

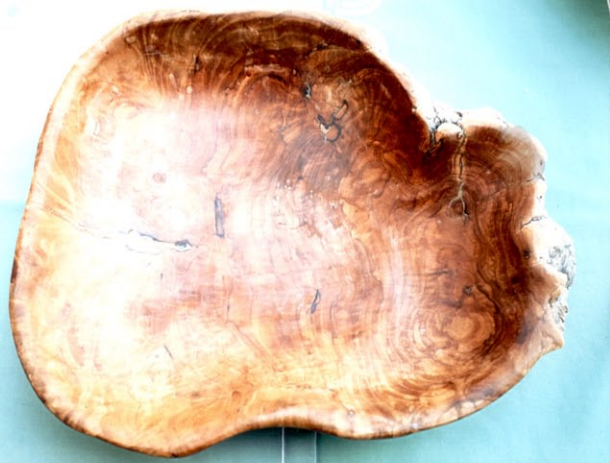
ごはんを炊く時、少量のオリーブオイルを入れる。また、そのままパンにつけて食べても美味しい。改めて、世界のそれぞれの国には伝統の美味しいものがあると思える。

さて、オリーブの木については、旧約聖書の創世記に出ており、ノアの箱舟の話として有名である。神は互いに傷つけ合う人間のことを悲しみ、善良な人「ノア」に箱舟を作るよう命じられる。ノアは箱舟にあらゆる動物や鳥を乗せたところで、雨が降り始め洪水となり、地上のものを流してしまう。雨が止んだところで、ノアは鳩を箱舟から放つたところ鳩はオリーブの若葉をくわ

はオリーブの葉でできた冠が与えられた。このようにオリーブの木教会建設に伴って始まったと言われ、キリスト教の修道士によって、製作方法が伝えられたという。木彫製品は、聖なる木とまで古い歴史を持つているに驚く。



オリーブの木で作られた壁掛け



樹齢100年以上のオリーブの木製皿

また、私たちがパレスチナを訪れた時、支援している施設の庭にもオリーブの木が植えられてあり、お土産にオリーブオイルをプレゼントされた。



キリスト教関連の木工品